

令和2年度 荒尾市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の実施状況及び効果の検証について

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了	内交付金			
1	すこやか未来課	災害時感染拡大対策事業	マスクや消毒薬等の資材を備蓄することで、避難所の衛生環境保持及び避難者の感染拡大防止を図る	R2.5	R2.8	8,009,032	8,009,032	マスクや手指消毒液、非接触型体温計を購入し、各避難所へ配備した。	感染防止対策を徹底することで、避難所での新型コロナウイルス感染症拡大を防止した。
2	教育振興課	学校臨時休業対策費補助金(単独事業分)	事業者に対して既に発注されていた臨時休業期間の学校給食食材のキャンセル等に要した費用について補助する。	R2.4	R2.11	1,710,428	1,710,428	令和2年4月分の給食キャンセル分食材費を食材納入業者(熊本県学校給食会)に支払った。	食材納入業者のキャンセル発生に伴う損失補填ができた。
3	教育振興課	学校給食の提供日以外の小中学校における昼食の提供	学校給食の提供日以外となる小中学校の休校における登校日等において、児童生徒の健康及び家庭の家計への負担軽減のため昼食を提供する。	R2.5	R2.6	2,111,622	2,111,622	市内小中学校の児童・生徒は令和2年5月25日から同月29日まで休校明け前に登校日となった。その期間にご飯・おかず(カレー等)・牛乳などの簡易な昼食を無償で提供した。	給食時の新しい生活様式を定着させるため、また、保護者の家計の負担軽減、児童生徒の不安解消の一助となった。
4	教育振興課	荒尾市就学援助制度(小学校)	急激な家計状況の変化により、収入の減少があった世帯を対象に就学援助を拡大する。また、全ての認定者に対し、学校の臨時休業期間中における家庭の食費負担を軽減するため、4・5月の給食費相当分について支給する。	R2.4	R3.3	468,093	468,093	認定者6人に対し、新入学学用品費、学用品費、給食費(休業期間の補償を含む。)、校外活動費、修学旅行費を支給した。	新型コロナウイルス感染症の影響で家計状況が急変した世帯に対し、就学援助費を支給することにより、当該世帯の負担軽減となった。
5	教育振興課	荒尾市就学援助制度(中学校)				381,717	381,717	認定者4人に対し、新入学学用品費、学用品費、給食費(休業期間の補償を含む。)、修学旅行費を支給した。	新型コロナウイルス感染症の影響で家計状況が急変した世帯に対し、就学援助費を支給することにより、当該世帯の負担軽減となった。
6	教育振興課	荒尾市遠隔・オンライン学習の環境整備事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現を進める。	R2.12	R3.6	241,172,745	241,172,745	LTE通信及び授業支援システム、遠隔会議システムのソフトを導入し、GIGAスクール構想及びリモート授業を行うための環境整備を行った。	コロナ禍における臨時休校等の際には、導入した機器、ソフトウェア等を活用し、リモート授業等を実施することができた。
7	産業振興課	荒尾がんばる事業者応援給付金事業	売上が前年同月比で20%以上100%未満減少している法人に20万円、個人事業主に10万円の給付金を支給する。	R2.5	R3.3	101,200,000	101,200,000	申請数:666件	新型コロナウイルス感染症の拡大により、経営に大きな影響を受けた市内事業者等に対して補助金を交付することで、事業の継続や雇用の維持を下支えするための一助となった。
8	産業振興課	雇用関係助成制度の活用支援	雇用関係助成制度の利用促進のため、雇用関係助成制度の申請書の作成支援事業を補助する。	R2.5	R3.3	4,546,500	4,546,500	申請サポート総数156件 助成金申請総数151件 個別相談会参加企業数103社/2回	国において申請フォームを分かりやすくする等対策が取られたが、オンラインによる申請についての苦情は多く寄せられたところである。本市で実施した雇用調整助成金の申請サポートにより、市内企業から一定数の申請が行われ、スムーズな制度の活用が可能となった。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
9	産業振興課	新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響度・実態等に関する調査及び支援事業の周知	コロナ禍における地域経済の状況を把握し、その結果を反映させた効率的な事業の立案及び支援情報を提供する。	R2.5	R2.7	549,743	549,743	市内事業所ヒアリング調査業務報告書の作成 架電1,488件、回答645件、回答率43.3%	新型コロナウイルス感染症の市内事業所の業況や対策等を把握した。事業者の売上減少による影響を軽減するため、プレミアム付商品券事業をはじめ、コロナ対策用のマスクやアルコール液などの物品に対する補助事業を新規で実施した。
10	産業振興課	「あらおスマイルDELI」宅配推進支援事業	売上が低迷している市内飲食店の売上の向上及び地域経済の活性化を図るため、飲食店応援サイト「あらおスマイルDELI」の登録店舗全店において宅配(デリバリー)販売を行う。	R2.4	R3.3	10,744,134	10,744,134	【第1回】 登録店舗数: 47店 配達件数: 1,288件 売上金額: 7,511,488円 【第2回】 登録店舗数: 47店 配達件数: 1,869件 売上金額: 13,617,236円 20%還元チケット発行額: 2,216,554円	飲食店への時短要請等の影響を受け、来店者が減少する中、飲食業界の売上はかなり落ち込んだが、デリバリー販売を中心とする本事業を行うことで、売上の一助になったと思われる。また、市内事業者からの反響も良かった。
11	産業振興課	地域物産販売強化支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の低下への対策として、荒尾市の特産品の販路拡大のため、自宅でも購入できるオンラインショップ開設費用を補助する。	R2.6	R3.3	2,289,174	2,289,174	荒尾市観光協会のHP内にオンラインショップを開設。市内の特産品等を一元化し販売する体系構築を行った。注文者総計158人、売上539品、総売上391,705円であった。	コロナ禍で物産館の売上が減少している中で、市内事業者の経営支援にもつながった。オンラインショップのニーズが高まっている中で、関西や関東からの注文もあった。
12	総合政策課	乗合タクシー運行補助の拡充	感染拡大防止のため、乗合タクシーの乗車定員を4人から2人にするための便数の増にかかる費用を補助する。	R2.5	R3.3	674,154	674,154	乗車定員を変更したことにより、事業期間中に合計387便の増便を実施した。	乗車定員を半数に減らすことで、乗客同士、また乗務員との間隔を開けることができ、新型コロナウイルス感染症感染のリスク低減に寄与した。
13	総務課	緊急対応型雇用創出・研修事業	感染症の影響による就労困難者に対する雇用創出を図り、該当者を市の会計年度任用職員として任用する。	R2.7	R3.3	8,786,771	8,786,771	令和2年度7月以降、計4部署7人を会計年度任用職員として任用した。	就労困難者に対する雇用創出とともに、市の事業遂行のための欠員補充につなげることができた。
14	防災安全課	避難所対策事業	避難所における環境整備や、情報収集の機材整備、さらには避難所における感染拡大の防止、避難者の不安の軽減を図るための備品等を購入する。	R2.9	R3.3	14,637,766	12,958,766	受付への非接触型体温計や避難スペースへのパーティションやサーキュレーター等の配備により感染対策を講じた。	感染を不安に思い避難しない人がなく災害から被害を防ぐことができた。また、避難所において密を防ぎ、感染拡大を防止できた。
15	子育て支援課	保育施設等事業者支援事業	就労中の保護者の児童の居場所を確保するため、開所している保育施設、放課後児童クラブ等に対して協力金を支給する。	R2.7	R2.7	5,430,000	5,430,000	市内の児童福祉施設等(保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育施設、放課後児童クラブ、病児保育施設、認可外保育施設、児童養護施設)に勤務する543人に児童福祉施設等を通して10,000円/人を支給した。	学校が臨時休業する等、社会が混乱する中であっても、原則開所となる保育施設や放課後児童クラブ等に対し、協力金を支給することにより、事業の継続を支援することができた。
16	子育て支援課	ひとり親家庭等生活支援給付金事業	安定的な就労が困難な傾向にある児童扶養手当受給者に対し、就業環境等の悪化等を緩和し、その生活を支援するため、一世帯あたり1万円を支給する。	R2.7	R3.1	9,308,000	9,308,000	児童扶養手当受給世帯558世帯(児童880人)に対し10,000円/人、児童扶養手当受給世帯のうち生活保護受給者28世帯(児童51人)に対し8,000円/人、合計9,208,000円を支給した。 郵便料: 100,000円	経済的にも社会的にも不安定になりがちなひとり親家庭等世帯へ現金給付をすることで、給与の減を賄い、生活費への支出が即刻可能となり、生活の安定につなげることができた。
17	農林水産課	農業制度資金利子補給補助金、農業経営安定資金保証料助成費補助金	新型コロナウイルス感染症の拡大により、経営が悪化した農業者に対し融資を行った金融機関等に対し、補助するもの。	R2.4	R3.3	9,349	3,254	新型コロナウイルス感染症の拡大により、収入が減少した農業者の資金貸付に対し、利子補給を行うとともに保証料の補助を行った。	資金貸付に対する利子補給や、保証料の補助を行ったことで、農業経営の継続を支援した。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
18	教育振興課	公立学校入出力支援装置購入事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現を進める。	R2.12	R3.3	2,520	2,520	障がいのある児童生徒のICTツールの活用を支援するため、入出力を支援する装置を整備した。	コロナ禍における臨時休校等の際には、導入した機器、ソフトウェア等を活用し、リモート授業等を実施することができた。
19	教育振興課	公立学校情報機器整備費補助金	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現を進める。	R2.12	R3.3	454,000	227,000	学校から授業等を配信できるようWebカメラ、マイク等の環境整備を行った。	コロナ禍における臨時休校等の際には、導入した機器、ソフトウェア等を活用し、リモート授業等を実施することができた。
20	教育振興課	学校からの遠隔学習機能の強化事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現を進める。	R2.12	R3.3	256,710	256,710	学校から授業等を配信できるようWebカメラ、マイク等の環境整備を行った。	コロナ禍における臨時休校等の際には、導入した機器、ソフトウェア等を活用し、リモート授業等を実施することができた。
21	教育振興課	家庭学習のための通信機器整備支援事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現を進める。	R2.12	R3.3	18,290,000	18,290,000	タブレットにLTE通信できる環境整備を行い、教室以外からも通信できる環境を整備した。	コロナ禍における臨時休校等の際には、導入した機器、ソフトウェア等を活用し、リモート授業等を実施することができた。
22	すこやか未来課	地域活動支援に係る感染対策事業	各地域の活動拠点等に新型コロナウイルス感染症予防のための資材を配付する。	R2.7	R3.3	8,367,484	8,367,484	各公民館等を活用しての地域活動に係る感染防止策を講じるため、98施設に対し、マスク、手指消毒薬、非接触型体温計、扇風機(サーキュレーター)を配布した。	感染防止対策を徹底しながら地区活動の推進を図ることができた。
23	すこやか未来課	化学防護服整備事業	新型コロナウイルス感染症発生時の庁舎消毒やワクチン接種時に使用することのできる化学防護服を購入する。	R2.12	R3.2	2,356,200	2,356,200	新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき実施するワクチンの住民接種や避難所等における感染防止対策等のために化学防護服/感染対策セット630セットを購入した。	今後発生する可能性のある新型ウイルス蔓延時の対策を講じることができた。
24	企業局	水道事業会計・下水道事業会計繰出(執務室分離事業)	在宅勤務のできない上下水道料金の徴収業務等について、執務室を分離して3密を避ける。	R2.4	R3.3	1,355,200	1,355,200	執務室を分散し、業務継続できるようシステム等に伴う配線整備を実施した。	徴収業務等の事務について支障なく実施ができた。
25	企業局	水道事業会計・下水道事業会計繰出(感染症予防及び感染者発生時対策事業)	感染症予防として、職員用布マスク及び防護服を備蓄する。	R2.4	R3.3	273,000	273,000	感染予防対策として局内にマスク及び消毒時使用する防護服を配備した。	感染対策の徹底や来客者の協力により、局内施設でのクラスター等の発生はなかった。クラスター等の感染拡大時に対応できるよう荒尾市企業局危機管理計画内の感染予防備蓄として定めている。
26	企業局	水道事業会計・下水道事業会計繰出(窓口アクリル対面板設置事業)	飛沫感染予防のため、企業局窓口カウンターにアクリル対面板を設置する。	R2.11	R3.3	172,700	172,700	企業局内受付窓口2か所にアクリル板パーテーションを設置した。	庁舎内においてパーテーション等を利用して感染予防を行い、職員利用者の飛散防止を行い、集団感染は発生しなかった。
27	企業局	水道事業会計繰出(災害応急給水事業)	災害で水道施設に被害が発生し、断水した場合であっても、避難所等の感染拡大を防止するために必要となる水を供給できるよう、給水車を整備する。	R3.3	R4.3	16,973,000	16,973,000	給水車を購入した。	災害等の感染対策等による出勤の事案はなかった。災害時等における感染対策等のため、荒尾市地域防災計画のマニュアルに定めている。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
28	企業局	水道事業会計・下水道事業会計繰出(企業局及び大島浄化センター自動水栓化促進事業)	市民も利用する企業局や大島浄化センターのトイレを自動水栓化し、感染機会の削減を図る。	R2.9	R3.3	668,800	668,800	手洗水道蛇口の自動水栓化を実施した。	施設において、集団感染は発生しなかった。
29	教育振興課	新型コロナウイルス感染症対策事業(教育)	学校における新型コロナウイルス感染症対策として、衛生用品や、空気清浄機等を購入する。	R2.7	R3.3	26,836,429	26,836,429	各学校にマスク、アルコール、非接触式体温計を購入し配布。本市独自対策として、主に消毒液や石鹸液のほか、パーテーション4,114台、オートソープディスペンサー500台、加湿空気清浄機等586台を設置した。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止につながった。また、所管する学校において、感染拡大事例もなく教育活動を行うことができた。
30	教育振興課	小中学校施設改修費(コロナ)	接触機会の減少を図るため、プール授業用に広い更衣室を確保するための部屋の改修、手洗い場の自動水栓化やレバーハンドルへの取り換えを行う。日常的な換気を行うに当たって虫が入ってこないよう教室等に網戸を設置する。新型コロナウイルス感染症対策として使用するサーモマネージャー等の電気製品を起動させるために必要となる電気工事を行う。	R2.6	R3.7	45,560,424	45,560,424	学校における施設面でのコロナ対策として、自動水栓への取り換え、3密を回避するための更衣室整備、換気のための網戸設置、夏休み短縮に伴う熱中症対策のための電気工事(スポットクーラー用電気配線整備等)等を行った。	新型コロナウイルス感染症の感染が広がる中、学校内の感染リスクを減らす一助となった。
31	産業振興課	荒尾市事業者感染症対策事業	事業者が行う感染症防止策に要する経費(マスク・空気清浄機・消毒液等)の一部(10/10)を補助する。	R2.8	R3.3	45,204,200	45,204,200	申請受付件数:633件 支給額:45,204,200円	本事業を行ったことで、市内事業者の感染症対策を行う意識の醸成が図られた。
32	産業振興課	プレミアム付商品券発行支援事業	地域経済の活性化を図るため、補助率20%のプレミアム付商品券を発行する。	R2.6	R3.3	48,183,091	48,183,091	・荒尾地域振興券 ライフ 発行総額:1億2,000万円(プレミアム率20%) 発行冊数:20,000冊【完売】 ・荒尾地域振興券 My Local 発行総額:1億2,000万円(プレミアム率20%) 発行冊数:17,000冊【完売】 〔再販売分〕 発行総額:650万円(プレミアム率30%) 発行冊数:1000冊【完売】	特に、新型コロナウイルス感染症拡大において影響の大きかった業種(飲食・タクシー・運転代行・ガソリンスタンド・宿泊施設・観光施設)への支援を考慮して、2種類発行した。事業を進める中で、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたが、換金率も99.64%と、地域経済の疲弊を回復する一定の効果はあった。
33	産業振興課	プレミアム付き宿泊チケット発行事業	宿泊者の誘客促進により経済活性化を図るため、プレミアム付き宿泊チケットを発行する。	R2.6	R2.12	6,637,100	6,637,100	販売枚数2,476枚/3,000枚	国の「GoToトラベルキャンペーン」の開始に先立ち、本市への旅行需要を喚起することができ、市内宿泊施設の早期経営支援につながることができた。また、宿泊施設と同様に需要減少の影響を受けていた飲食店に対しても、一定の波及効果を生み出すことができた。
34	子育て支援課	清里保育園新型コロナウイルス感染症等災害対応へのアプリ活用事業	公立保育園管理者が園不在時においても、迅速にコロナ関連による登園自粛や休園の通知、その他の情報を双方向性情報発信アプリ等を活用し、円滑・迅速・確実に行うため携帯端末を購入する。	R2.9	R3.3	26,572	26,572	保育園専用携帯端末を購入し、LINE等を活用して、コロナに関する情報発信を随時行った。 9月～3月電話料:26,572円	LINE等による一斉配信と既読確認より、迅速に全ての保護者に緊急の連絡を取ることができた。
35	市民課	新しい生活様式に対応した窓口システム等導入事業	庁舎滞在時間の短縮及び利便性の向上を図るため、ライフイベントごとに必要な手続や提出書類を確認できるサービスをホームページ上で展開する。	R2.12	R3.3	1,430,000	1,430,000	来庁前に事前に手続きに必要な書類を確認してもらうことで、来庁時の必要書類持参漏れによる再来庁の抑制や庁舎滞在時間の短縮及び感染対策が図られている。	令和3年3月からサービスを開始し、各月の平均アクセス数は約370件となっており、安定的なアクセス数が見られることから、窓口や電話での問合せ件数の減少に資する効果を上げている。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
36	収納課	市税等の口座振替促進事業費	安定した自主財源の確保と市役所及び金融機関での窓口納付の数を減らし、コロナ感染のリスクを抑えるため、5月～10月の期間で市税等の口座振替の新規申込者及び追加申込者に対し先着600人に記念品として500円分のクオカードを送付する。	R2.5	R2.12	543,588	543,588	対象期間中の口座振替の新規・追加申込者582人	口座加入率 0.05%増(令和2年度/令和元年度)
37	総合政策課	荒尾市タクシー事業者感染症対策支援事業	市内のタクシー事業者に対し、新型コロナウイルス感染症対策として、1台当たり2万円の補助金を交付する。	R2.7	R2.8	1,140,000	1,140,000	4事業者全57台のタクシー車両に対するセパレートカーテン等の設置をはじめ、マスクや消毒液等の購入に対して支援を行った。	タクシー車両に対する感染対策をはじめ、マスクや消毒液等の購入に対して支援することで感染対策を行った。
38	総合政策課	情報発信環境整備事業	新型コロナウイルス感染のリスクを軽減させるため、出勤しなくても、屋外や在宅において、市ホームページの更新等が可能となるように情報機器を整備する。	R2.10	R2.12	836,550	836,550	専用端末等の導入により在宅勤務においても担当職員が市HP等による情報発信業務を通常通り継続できた。また、端末を感染症担当部署に貸し出し、休日における感染症発生時にも即座に市民へ情報発信が可能となった。	市民への速やかな情報発信を継続しつつ、職員の在宅勤務による分散対策で、感染症感染リスクの低減に寄与した。
39	文化企画課	スマート自治体環境整備事業	職員同士・事業者・住民との接触機会を減らせるよう、Web会議環境を構築する。	R2.9	R3.3	23,665,510	23,665,510	Web会議環境を整備するため、WEB会議システムライセンス、PC、プロジェクト及び大型液晶テレビ等を購入した。	庁内で実施する定例的な大規模会議、事業者との打合せ及び研修等がWEBで開催できるようになり、職員同士や事業者など接触の機会が大幅に減り、人流の抑制につながった。
40	文化企画課	文化公共施設安全・安心確保事業	文化公共施設(文化センター・子ども科学館)に、感染予防のための消毒液等の消耗品や、サーモカメラや空気清浄機等の備品を購入する。	R2.6	R3.3	3,368,190	3,368,190	消毒液等の消耗品を購入するとともに、オートディスペンサー27台、空気清浄機、15台、サーモカメラ2台を設置した。また、子ども科学館内の抗菌剤塗布を実施した。	感染予防の物品を購入することにより、文化センター及び子ども科学館の感染予防対策の強化を図ることができた。
41	福祉課	放課後デイサービス事業所支援事業	保護者の就労などの理由により、自宅1人で過ごすことが困難な障がい児の居場所を確保するため、開所時間を延長した放課後等デイサービス事業所に対して協力金を支給する。	R2.7	R2.7	410,000	410,000	市内の放課後等デイサービス事業所5か所に、開所時間の延長対応等に関する協力金計410,000円を支給した。	事業所には臨時休校の場合など、開所時間を柔軟に対応することで、保護者が就労している障がい児の居場所が確保できた。
42	財政課	職員感染による庁舎等消毒事業	職員から新型コロナウイルスの感染者が出た際に、庁舎等の消毒を行う。	R2.7	R2.9	473,000	473,000	市役所本庁舎、リレーセンターの2か所において消毒委託を実施した。	職場内での集団感染(2次感染)は発生しなかった。
43	財政課	受付カウンター用パーティション購入事業	飛沫感染防止のため、本庁舎にて受付カウンター用パーティション等を購入する。	R2.6	R3.3	728,541	728,541	受付カウンター用パーティションの購入設置 塩ビ板の購入設置 ビニールシートの購入設置	庁舎内においてパーティション等を利用して感染予防を行い、集団感染は発生しなかった。
44	生涯学習課	社会教育施設等安全・安心確保事業	社会教育施設(公民館・図書館・運動施設等)に消毒薬・非接触体温計・空気清浄機等を設置する。	R2.5	R3.3	2,633,074	2,539,074	・社会教育施設の入口に非接触型体温計や自動消毒液等を設置 ・各体育施設のトイレ手洗い場をレバーに交換 ・屋外施設等に掲載する感染予防の張り紙を設置 ・図書館内に本を消毒できる機器(図書消毒機)を設置	施設の感染対策の徹底や施設利用者の協力もあり、施設利用者の感染やクラスターの発生はなかった。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
45	農林水産課	学生への荒尾産農産物プレゼント事業	コロナ禍でアルバイト等ができず、生活に困っている学生に対して、荒尾産の農産物を送付する。	R2.7	R2.11	1,815,225	1,815,225	378人の学生に対して荒尾産の農水産物(米5kg、海苔)を提供し、支援を行った。	学生の日常生活を支援することで、学生が学業に専念するができた。また、荒尾の農水産物の魅力発信にもつながった。
46	くらしいきいき課	市民活動サポート助成事業	新型コロナウイルス感染症の対策事業に取り組む市民活動団体等の活動費を補助する。	R2.6	R3.3	136,326	136,326	荒尾和・活プロジェクト(55,150円)、ありあけ国際交流協会(81,176円)に助成金交付を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策に寄与した。
47	くらしいきいき課	みどり蒼生館新型コロナウイルス感染症対策事業	飛沫感染防止のため、パーテーションとフェイスシールドを購入する。	R3.1	R3.3	23,660	23,660	新型コロナウイルス感染症対策備品を購入した。	対策備品を購入したことによって、新型コロナウイルス感染症拡大防止策に寄与した。
48	会計課	荒尾市市税等コンビニエンスストア・スマートフォンアプリ収納代行業務事業	コンビニ収納を通して、納付機会拡大による密集の回避に繋げる。また、スマホアプリ収納を通して、人と人との接触機会の減少につながる。	R2.10	R3.3	15,895,550	15,895,550	収納代行業者との契約及び実施に必要なシステム改修を行った。	事業の開始が令和3年度からのため効果の判定は無し。
49	企業局	水道事業会計・下水道事業会計繰出(荒尾市市税等コンビニエンスストア・スマートフォンアプリ収納代行業務事業)	同上	R2.10	R3.3	2,635,710	2,635,710	収納代行業者との契約及び実施に必要なシステム改修を行った。	事業の開始が令和3年度からのため効果の判定は無し。
50	教育振興課	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る)	学校再開等に当たり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等を整備する。	R2.5	R2.10	1,404,381	740,381	市内の小中学校に配備するマスクや消毒液等の衛生用品、非接触型体温計の購入を行った。	新型コロナウイルス感染症が流行している中で、学校現場における感染リスクの軽減につながった。
51	教育振興課	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る)	感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びの保障をするために各学校において必要となる経費	R2.7	R3.2	17,000,247	8,500,247	各学校において、感染対策を講じながら学校における継続的に実施するために必要な衛生用品等の消耗品や3密回避のための各種備品の購入等を行った。	新型コロナウイルス感染症が流行している中で、学校現場における感染リスクの軽減につながった。
52	教育振興課	学校施設消毒委託事業	児童生徒、教職員等の学校関係者に新型コロナウイルス感染症罹患者が発生した場合に学校施設の消毒を業者委託により行う。	R2.9	R2.11	330,000	330,000	新型コロナウイルス感染症患者が発生した小学校1校の消毒を行った。	小学校内での感染リスクを減らす一助となった。
53	環境保全課	荒尾干潟水鳥・湿地センター感染対策事業	出入口への設置や館内の備品、トイレ等の消毒を行うために必要な消毒液を購入する。	R3.2	R3.3	148,500	148,500	施設利用者の感染を防止するため、複数ある出入口に消毒液を設置。館内の手すりやタッチパネル、トイレの消毒を実施。また、団体受入時に、机や椅子の消毒を行い、感染防止に取り組んだ。	団体受入対応やイベントの実施、市内外からの施設利用者の受け入れを実施したが、施設利用者の感染者はいなかった。
54	環境保全課	荒尾市斎場感染対策事業	感染者の火葬を行う際、施設利用者及び従事者の感染を防止するための防護服等を整備する。	R3.3	R3.3	386,650	386,650	遺族に防護服及びフェイスシールドを着用しての火葬業務にあたることを説明し、火葬業務を実施した。	火葬業務従事者に感染することなく業務を遂行することができた。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
55	教育振興課	学校臨時休業対策費補助金	(学校給食費返還等事業) 事業者に対して既に発注されていた臨時休業期間の学校給食食材のキャンセル等に要した費用について補助する。	R2.4	R2.7	1,762,400	441,400	令和2年3月分の給食キャンセル分の食材費を食材納入業者2件に支払った。	食材納入業者のキャンセル発生に伴う損失補填ができた。
56	教育振興課	小学校におけるコロナ発生に伴う食材費用補助事業	新型コロナウイルス感染症発生により、急速臨時休校になった小学校で準備をしていた食材費を補助する。	R2.9	R2.12	118,529	18,529	荒尾市立万田小学校において臨時休校や学級閉鎖時、学校給食がキャンセルとなった分の食材費(給食費)について支払った。	食材納入業者のキャンセル発生に伴う損失補填ができた。
57	教育振興課	学校給食 安全・安心確保事業	施設利用者との接触を防ぎ、感染リスクを軽減するため、学校給食センターに非接触式検知器やワイヤレスドアホンを設置する。	R3.1	R3.3	105,380	105,380	多人数が入り出る施設であるため、入所前に体調を確認する非接触式検知器1台を玄関に設置した。また、ワイヤレスドアホンを付けることにより、センター内に人が入らなくても用事が済むようになった。	新型コロナウイルス感染症の感染が広がる中、学校給食センター内の感染リスクを減らす一助となった。
58	財政課	庁舎整備見直しによる感染対策事業	来庁者用のサーモカメラ等の備品を設置する。 接触機会の減少のため、レバー式水栓への取り換えを行う。 こまめな喚起を実施するため、来庁者が集中する1階部分への網戸を設置する。	R3.1	R3.3	631,494	631,494	非接触式検温器の購入設置 足踏み式消毒台の購入設置 アルコールディスペンサーの購入設置 消毒清掃用ペーパータオルの購入 水道用レバーハンドルの購入交換 庁舎網戸の取付工事	来庁者、職員の感染予防となり、集団感染は発生しなかった。
59	財政課	生活支援臨時交付金にかかる電話回線整備事業	生活支援臨時交付金について、コロナ禍で増加した各種問合せに電話対応できるよう回線を整備する。	R2.4	R2.5	249,700	249,700	問合せ専用電話機3台の購入設置	生活支援臨時交付金の支給事務が問題なく実施できた。
60	産業振興課	荒尾市新型コロナウイルス感染症対策制度融資利子補給基金事業	資金繰りに苦しむ市内事業者を支援することで、市内経済の維持を図る。	R2.4	R6.3	48,000,000	45,956,075	【R2年度】 申請数:110件	県金融円滑化特別資金の貸付を受けた日から最長3年間の利子相当額を全額補給することで、新型コロナウイルスの影響を受ける事業者の資金繰りの一助として、事業の継続を支援した。
61	産業振興課	荒尾市新型コロナウイルス感染症対策制度融資利子補給事業	資金繰りに苦しむ市内事業者を支援することで、市内経済の維持を図る。	R2.4	R3.3	18,024,337	18,024,337	申請数:110件	県金融円滑化特別資金の貸付を受けた日から最長3年間の利子相当額を全額補給することで、新型コロナウイルスの影響を受ける事業者の資金繰りの一助として、事業の継続を支援した。
62	産業振興課	新型コロナウイルス感染症防止対策事業	市内にて飲食業又は小売業を営む事業者に対し、アドバイザーによる感染症対策現地指導・審査を行い、審査に通ればステッカー及び幟を交付する。	R2.10	R3.3	3,037,300	1,519,300	訪問事業者数:330件 感染防止取組宣言店:281社、検討中:33社、拒否:13社、閉店3社(飲食業)	多くの市内事業者の協力を得ることができ、荒尾市全体で感染症対策に取り組んでいるアピールが行えた。

No	担当課	事業名	事業概要	事業期間		事業費(円)		事業の実績	事業の効果
				開始	完了		内交付金		
63	子育て支援課	子ども・子育て支援交付金	新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業時に、放課後児童クラブを開所するために係る経費等について補助を行う。 また、感染拡大防止を図るために市の自肅要請により自肅を行った利用者に対して利用料の還付を行った委託先放課後児童クラブに対し、還付した額について補助を行う。	R2.4	R2.5	5,647,000	1,883,000	市内10クラブにおいて、新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業により、春休み終了日の翌日以降、平日において午前中から開所した。 また、市の自肅要請により、利用自肅を行った利用者に対して利用料の還付を行った委託先放課後児童クラブに対し、還付した額について補助を行った。	小学校が臨時休業であっても、就労により子どもの放課後児童クラブ利用が必要である保護者に対し開所することで、就労の継続を支援することができた。 また、自肅要請により自肅に応じた利用保護者の負担軽減を図ることができた。
64	総務課	庁舎内新型コロナウイルス感染防止対策事業	新型コロナウイルスを持ちこまない、広めないようにするため、手指及び庁舎施設にて使用する消毒液等を購入する。	R2.4	R3.3	757,163	757,163	施設の出入口と各課(外局も含む。)に手指消毒液と次亜塩素酸水設置し、定期的に補充交換した。マスクは、原則、各自で準備してもらうことになっているが、どうしても準備ができない場合があるため、感染防止のため各課(外局も含む。)にマスクを配布した。	施設においてクラスターの発生を防ぐことができた。
65	福祉課	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	(自立相談支援機関等の強化事業) 自立支援相談員を追加で1人配置し、4人体制として増加している相談事業への体制強化を図る。	R2.11	R3.3	653,016	163,000	生活相談支援センターの支援相談員を1人加配し、相談体制を強化した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活に困窮する相談者の増加への対応が図られた。問合せ件数:R1(1,352件)→R2(2,505件)
66	福祉課	敬老記念品支給事業	感染拡大防止の観点から中止した敬老大会について、例年会場で配布していた記念品を、対象者宅へ配送する。	R2.9	R2.11	242,440	242,440	米寿記念品380個を対象者宅に配送した。	記念品を配送したことにより、新型コロナウイルスの感染予防を図りながら米寿者へ記念品を配布することができた。
67	福祉課	荒尾市ふれあい福祉センター浴室換気扇取替修繕事業	荒尾市ふれあい福祉センターの浴室換気扇について、現在の換気扇では十分な換気ができていないため、換気能力の高いものに取り替える。	R3.2	R3.3	250,800	250,800	換気能力の高い換気扇に取り替えた。	感染予防を図りながら、生活介護事業等障がい福祉サービスの提供ができた。
68	総合政策課	おもやいたクシー運行事業	コロナ禍における市民の生活に関する移動手段を確保するため、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じつつ、効率的な運行を実施するAIオンデマンドタクシーを運行する。	R2.9	R3.3	12,064,117	12,064,117	No.37の事業にて感染対策を実施したおもやいたクシーの運行に対する補助を実施し、事業期間中に延べ4,056人が利用した。	感染対策を行ったおもやいたクシーの運行に対する補助を実施し、市民の安心安全な移動を確保するとともに、交通事業者の支援を図った。
69	教育振興課	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業に限る)	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 感染リスクを最小限にしなが円滑に教育活動を継続するため、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童生徒の学びの保障をする。	R3.2	R3.3	13,600,000	6,800,000	各学校において、感染対策を講じながら学校における継続的に実施するために必要な衛生用品等の消耗品や3密回避のための各種備品の購入等を行った。	新型コロナウイルス感染症が流行している中で、学校現場における感染リスクの軽減につながった。
合計						813,795,036	786,588,000		